

第144回 BA エグゼクティブサロン概要（7/15）

テーマ：「5G でビジネスはどう変わるのか」

講師：クロサカ タツヤ（くろさか たつや）

株式会社 企（くわだて） 代表取締役

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任准教授

卓話概要：

5G の普及がはじまっています。2021 年 3 月末時点でおそらく 1000 万契約を超えているのではないかと見込まれます。一方で、ハイプサイクルによれば 5G は現在「幻滅期」にあり、実際、5G の夢物語が先行する一方で「つながらない」という声も聞こえます。

ところが、5G のおもしろさは、こうした課題自体が新しい事業機会になることです。東京都が西新宿等の都有地でニュートラルホスティング（インフラシェアリング）のような次世代型のタワービジネスに取り組んでいます。またローカル 5G の取組も本格化しています。さらに今後は MEC の整備が進み、5G × IoT × AI によるセンサーネットワーク、つまり「空間の DX」の進展が期待されます。このように、6G までのステップが明確になりつつある中、5G に関連してどのような事業機会が存在するのか、技術的特徴や想定されるインフラ展開のシナリオ、また米国や中国の事例を踏まえながら検討します。またプライバシーや倫理が叫ばれる時代に、どのようなマインドセットで事業開発に取り組むべきかも考察します。

略歴：

- ・1999 年 株式会社三菱総合研究所入社
（主に通信分野のビジネスコンサルティングや政策分析に従事）
- ・2008 年 株式会社 企（くわだて）設立、同社代表取締役に就任（現職）
（通信・放送分野、データプライバシー領域のコンサルティング、政策形成支援）
- ・2016 年 5 月 総務省情報通信政策研究所コンサルティングフェロー
- ・2016 年 5 月 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任准教授に就任（現職、兼務）
- ・総務省、経済産業省、内閣官房デジタル市場競争本部、公正取引委員会等の政府委員や、OECD（経済協力開発機構）日本政府代表団員を務める。



（以上）